

読む人の幸せを心に願って作る

喜びのタネまき新聞

No.
622

へプラスとマイナスへ

先日、男手ひとつで二人の息子さんを育てあげられた方と、お話をする機会がありました。今日までにはお仕事で地元を離れなければならなかったり、ご体調を崩されたりと、多くのご苦労もあったようですが、どんな時でもお子さんのお弁当づくりや学校行事などを怠ることはなかったそうです。

今では二人の息子さんは社会人となつて立派に活躍されていて、「自慢の息子たちです」と話されていました。

その方は、次男さんとはよく連絡を取り合っているのですが、長男さんとのご関係では悩むこともあったそうです。

それでも「長男と私とは少し距離がありますが、私との残された時間より、兄弟同士の時間の方がはるかに長い。二人がとても仲が良いことが何より幸せです」と話され、自分のことよりも、一人の息子さんの幸せを第一に考えておられることに胸を打たれました。

たとえば、自分との関係が良くなくても、周囲とうまくいけば、多くの人が幸せになれることがあると思います。自分にとってプラスなのか、マイナスなのかを考えるのではなく、周りの方にとってプラスであれば、自分へのマイナスをそっと心の中にしまえる器量が大切だと思いました。



茨城県

国営ひたち海浜公園

※イラストはイメージです

※イラストのネモフィラは、暖冬の影響で今年は4月に見頃を迎えます。公園内の各所では、1年を通じてさまざまな花が見られます。公園の開園状況はホームページ等をご参照ください。

株式会社ダスキン社長

山村輝治



「潮来に来て、潮来を好きになってもらえれば」と語る、あやめ笠作りの名人たち



笠状に開いていくよう、い草を足しながら編み込む。その調節が難しいそう



紺がすりにあやめ笠が映える。来年も綺麗に咲くよう、花からは摘み取られる



水郷潮来あやめまつりでは、約百万株の花々の中で、嫁入り舟が行われる



水郷で受け継がれる、
縁起物の農具

あやめ笠

あやめが咲く町で
愛用されてきた笠

利根川の下流に位置し、三方を湖沼と河川に囲まれた茨城県潮来市。水運や稲作で栄えた歴史を持ち、現在も早場米の産地として知られています。古くは稲を運んでいたという手漕ぎ舟“サツパ舟”が、観光客を乗せてのんびりと川を往来する、美しい水郷です。

この町に伝わるのが、い草で編んだあやめ笠。笠の形が、潮来に多く自生するあやめに似ていることから名付けられ、「昔はどの家にも必ずあった」というほど、農作業に欠かせない必需品でした。素朴な農具ながら、

現在は、潮来市シルバー人材センターの四名の作り手が、昔と変わらぬ手法で笠作りを行っています。青々とした畳を思わせる、い草の香りに包まれた作業場は、5月下旬から行われる「水郷潮来あやめまつり」に向けて作業の真ただ中です。

七つある工程は、全て手作業。い草を裁断して束にした後、針金を入れて頭頂部に「ぼっち」という突起を作り、い草を足しながら笠状に編んでいきます。力も集中力もいる作業のため、経験豊富な人でも一つの大笠を作るには丸一日かかるのだとか。

「い草の量や編み目のバランスなど、全て手で覚えた仕事だから、急いで作れないの」「ほしいと言ってくれる人は多いんだけど、手が追いつかなくて、うれしいやら申し訳ないやらでねえ」と、作り手の皆さんは手を動かしながら、笑顔で話してくれました。

伝統の技術を 郷土愛でつないでいく

「今作っている、その笠がほしい」と実演販売の場で丸一日近く完成を待ってくれた人がいたり、購入後に笠をかぶった写真を送ってくれた人がいたり、「手間暇がかかるからこそ、お客様の手に渡った喜びはひとしお」と皆さんは口々に語ります。

根を詰めた作業が一段落すれば、皆で休憩。「潮来は本当に良い所だし、一度あやめを見に来れば、好きになっぺ」「お米やさつ



大・中・小の大きさに加え、ミニサイズに南部鉄器の風鈴をつけたものなど、種類もさまざま



サツパ舟が通る川辺。船頭さんにも、あやめ笠は必需品

まいもだつて、うめえもんもあるしね」と、地元の自慢話に花を咲かせながらお茶をすすする時間も楽しげです。

「作り始めの頃は失敗をして、貴重ない草をダメにしたこともありました。それでも先輩方は、根気よく教え、見守ってくれた。きつと、あやめ笠を途絶えさせてはいけないという使命感があったからだと思います。だから私たちも、大切につないでいきたい」と、作り手の班長である四ノ宮さんは語ります。そして今後は、年に一度行われる「伝統あやめ笠作り体験会」の他、地元の高校で教えることも計画中と、意欲をみせてくれました。

蕾がほころび始め、そろそろ見頃を迎えるあやめの花。今年も鮮やかな紫色の花々とともに、い草の爽やかな香りが、潮来に初夏の訪れを告げてくれそうです。

※内容は2月に取材したものです。お祭りの日程等は変動する場合があります。



あやめ笠のふるさと 茨城県潮来市

風情ある水の都で、詩や歌の題材にも選ばれてきた。昔は舟が交通手段として使われ、婚礼時は花嫁が舟で嫁いだそう。水郷潮来あやめまつりでは嫁入り舟の再現が見られる。米どころとしても有名

台所の相談室

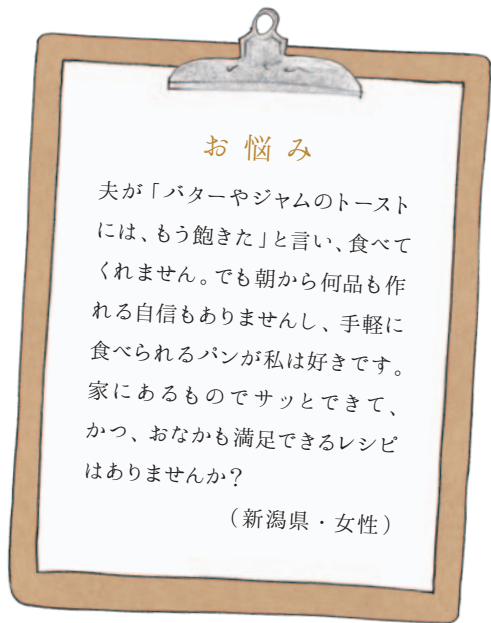
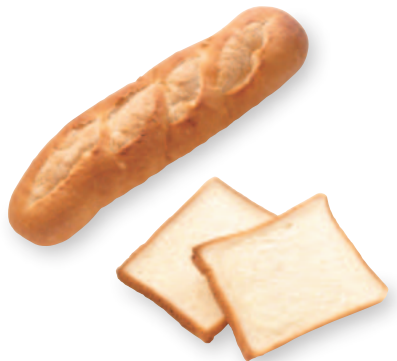
朝食の定番・トーストは、洋風はもちろん、和風とも相性が良くいろいろなレシピを知っておくと便利。小腹が空いた時にもおすすめです。

FILE 6

冷蔵庫にある食材をのせたり、前日仕込んだりすれば楽々。

辛味がアクセントになるので、試してみてくださいね。

また、我が家では、朝から甘いものは食べたくないという夫のために、塩味のフレンチトーストを焼きます。前日から卵液につけておけば、しっかりと卵液を含みますから、朝は焼くだけ。焼いている間にコーヒーをゆっくりと淹れて、朝ごはんの時間を楽しみましょう。



お悩み

夫が「バターやジャムのトーストには、もう飽きた」と言い、食べてくれません。でも朝から何品も作れる自信もありませんし、手軽に食べられるパンが私は好きです。家にあるものでサッとできて、かつ、おなかも満足できるレシピはありませんか？

(新潟県・女性)

ひだかずを 飛田 和緒さん

料理家。1964年、東京都生まれ。独自のアイデアレシピが人気。新刊の『いちばんおいしい野菜の食べ方』(オレンジページ)を始め、著書多数。



トーストに飽きるって、よく分かります。私もそう。特にごはん派の私はトーストに興味がなかったのですが、娘がパン好きなので、あの手この手で、毎朝のパンの献立を考えるようになりまし。おかずは、パンをトーストする間にできるものが基本。目玉焼き、卵焼き、スクランブルエッグ、ベーコンやソーセージを焼いて、野菜を切るくらい。ハムなら冷蔵庫から出せば良いだけなので、登場回数も多めです。でもその組み合わせも飽きてきた頃、冷蔵庫を見回してはっ



Answer
Recipe



甘くない フレンチトースト

材料(2人分)

バゲット……………1/2本
卵……………1個
牛乳……………1カップ半
塩……………ふたつまみ
オリーブオイル…小さじ2

作り方

- 1 バゲットは3cm幅に切る。
- 2 バットに卵と牛乳をといて塩を合わせたら、①を並べ、ラップをする。時々上下を返し、1時間ほどおく。
- 3 バゲットがしっかりと卵液を吸ったら、オイルでこんがり焼き上げる。

※バターで焼いてもおいしい

※焼き上がりに粉チーズをふるのもおすすめ

焼き油揚げ チーズトースト

材料(2人分)

食パン……………2枚
油揚げ……………1枚
貝割れ菜……………適量
溶けるチーズ……………約40g
バター……………適量
マヨネーズ……………適量
醤油……………少々

作り方

- 1 油揚げはオイルなしで両面こんがりとするまでフライパンで焼き、細切りにする。
- 2 パンにバターとマヨネーズを塗り、ほんの少し醤油をたらして、油揚げとチーズをのせてトースターで焼く。
- 3 チーズが溶けたら、切った貝割れ菜をのせる。



飛田さん、ひだかずを

フレンチトーストはじっくり、こんがり両面を焼くこと。卵液をパンの中心までしっかりと染み込ませておけば、外はカリッと中はふんわりと仕上がります。蓋をすれば全体的にふくらみ焼き、蓋なしなら、焼き面がカリッと焼けます。その日の気分を選んでくださいね。

ほほえみのひろば



蛍祭り

福岡県北九州市 岩本 万知子さん



毎年6月の第1土曜日、私の町では、川沿いで蛍祭りが開かれます。お祭りでは、老人会が焼きそばやおでん、枝豆などを作って販売します。獲れたてをその場で茹でるトウモロコシは、特に大盛況。微力ながら私も皆のまかない弁当やおにぎりを作って手伝います。

子どもさんや大人など、いろいろな人と一緒に食事をしつつ、蛍を鑑賞。お祭りは和気あいあいとしていて、町内の人たちにとって大切な一日となります。近年、蛍が減少してきてはいますが、今後も元気に続けていきたい行事です。

蛍の明かりと皆様の温かさに包まれる町のお祭りが、ずっと続きますように。

90歳差の交流

岩手県紫波郡 宮田 三千代さん



5カ月ぶりに、実家の母へ会いに行きました。今回は私の孫も連れて行き、95歳のひいおばあちゃんと、5歳のひ孫のご対面です。

「めんこいなあ、何歳になったの?」「5歳だよ、おばあちゃん」と、何度も同じ会話を繰り返す二人。認知症が進んでいる母は、今聞いたこともすぐに忘れてしまうのです。

それでも年齢差90歳の二人は何度も握手をして、手をふれ合い、なんともほほえましい姿なのでした。

手の温もりを通じて、目には見えない絆でつながれているようです。

孫の追っかけ

石川県加賀市 木村 慶子さん



私には六人の孫がいます。運動部に所属する孫が大会に出る時には、できる限り主人と応援へ行き、小旅行を楽しんでいます。幕張メッセや五月晴れの多治見、真夏の善光寺や錦秋の長野など、この機会がなければ訪れることもなかっただろう場所にも、行くことができました。

試合はいつも大接戦。負けた時はそとと帰ったり、勝った時は仲間と喜びを分かち合う姿を遠目から眺めたりします。孫が私たちの姿を見つけて「ありがとう!」と大声で言ってくれた時には、主人とウルウル。おかげで私の趣味は孫の追っかけです。

津々浦々を巡る応援、お孫さんもその声援に励まされているはず!

モンペ姿の母と傘

埼玉県川口市 入江 令子さん



梅雨時、カラフルな傘をさす小学生を見ると、母の思い出がよみがえります。折りたたみ傘や置き傘などなかった60年以上前、下校時に雨が降ると母親たちが傘を届けに三々五々集まったものです。そんな時、いつも最初に姿を現すのは、モンペ姿の私の母でした。母は動きやすいモンペを愛用していました。が、学校に来る時ぐらいう着替えてほしいと子ども心に思ったことを覚えています。

そんな母も、数年前に孫とひ孫たちに見守られて、94歳で旅立ちました。10年続いた介護は、神様が私に与えてくれた、母への恩返しの日だったのかもしれません。

傘とともに、お母様は深い愛情を届けてくださったのですね。

優しい恩返し

京都府亀岡市 上林 貞子さん



昔、ファミリーサポートという、親御さんの仕事が終わるまでお子さんを預かる活動をしていました。何人か預かって楽しく過ごしていましたが、私も主人も年だからと、最後に預かった子が小学校に入学するのを機にやめて、しばらく経ちます。

先日、最後に預かった男の子が「6年生になり修学旅行で伊勢へ行ってきました」と、お土産を持って来てくれました。主人を亡くし、一人でさみしい思いをしていた私を気づてくれたのです。

お土産を主人の仏壇にお供えして「もう6年生になったんやって。立派に育って感謝、感謝やね」と、その思いやりに思わず涙が出ました。

男の子の優しい心は、ともに過ごした時間の中でも育まれたのだと思います。

予定日通りの初産

岐阜県羽島市 山北 愛さん



娘が私のおなかにいると分かった時から、我が家の会話は娘のことばかり。持つきり。

予定日の前日、先生に「まだ産まれる気配はない」と言われて帰宅したものの、次第に陣痛が始まり、翌朝、母と夫にしがみつきながら病院へ行きました。到着後、数時間を経てやっと出産。全国でも珍しい予定日通りの出産でした。

初産で、その後バタバタしましたが、周りの方々が助けてくれました。そして何よりも、元気に成長中の娘にも「ありがとう」の思いでいっぱいです。今後大変なこともあるでしょうが、家族皆で乗り越えていきたいです。

「出産おめでとっ!」です。これからの成長が楽しみです!ね!

燈々無尽

お金以上に尊いもの

金持ちの生活が、うらやましい、と思ったなら、お金を残すように、ガンバル事だ。しかし、お金だけではしあわせではない。――と気づいたならば、

おもいやりがあり、愛情の豊かな人間になって、本当の幸福をつかむ事だ。生きている限りは、自分にとって生きがいのある生き方をする事だ!

ダスキン創業者 鈴木清一

愛の輪通信

ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業
第39期ミドルグループ研修 工藤登志子さん
(肢体不自由自立生活センターSTEPえどがわ職員)

愛の輪研修を経て、自分自身も、周りの意識も変わりつつあると感じます。



アメリカでの研修を終えた後、私たちは研修グループのメンバーそれぞれの職場で報告会を開催し、同僚たちと学んだことを共有しました。

そして今、近所の飲食店さんなどと一緒に街のバリアフリー化を目指したり、LGBT「コミュニティ」の方々と地域交流イベントや映画上映会等を催したりと、「障がい」の枠を超えてさまざまな活動を行っています。研修先で学んだ「誰もが歓迎され、安心して過ごせる場」を作れるように、これからも多くの方とのつながりを大切に、取り組んでいきたいと思っています。



愛の輪は、日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎ 06-6821-5270 🌐 <https://www.ainowa.jp/>



あなたのお便りや写真をお寄せください。

皆様から送りいただいたお話をもとに新聞を作っています。どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、お名前、ご年齢、ご職業、ご住所、お電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- 紙面やホームページで紹介させていただいた原稿や写真には、ささやかなお礼品をお送り致します。
- お送りいただいた作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

お花畑でお散歩♪



千葉県
成田市
木村
彩乃さん

うさぎのポコです



北海道
紋別市
高野 恵美さん

どの花見ても綺麗な♪



茨城県
石岡市
長谷川
英子さん



読者の皆様から送りいただいた
素敵な1枚をご紹介します。

ポピー見つけ!



福島県南会津郡
小沼 照子さん

チューリップにチュッ♡



鳥取県西伯郡
西山 麻美さん

大阪・舞洲のネモフィラ祭り!



大阪府
大阪市
福崎
直子さん

No.419からのバックナンバーが下記の
アドレスからご覧になれます。

<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



引越しのおそうじにはダスキンモップが便利!
引越しのお手続きは、担当店・Webページ
ダスキンコンタクトセンター 0120-100100 まで



株式会社 **ダスキン**

発行・編集: 広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報はご投稿の掲載や、今後の紙面制作に利用させていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記の株式会社ダスキン コンタクトセンターまでご連絡ください。

0120-100100 www.duskin.co.jp

59-3C 2020.5 3545600